

令和 8 年度

社会福祉法人白寿会

事業計画書

1. 法人事業計画

はじめに

令和8年度は、当法人2拠点目となる地域包括支援センターの受託運営開始に加え、他事業所の事業譲渡が正式に決定する運びとなり、社会福祉連携推進法人青海波グループを通じた拠点展開のみならず、自法人拠点も大幅に増加する予定です。

慢性化し、おそらく改善の見込みが期待できない人材不足、様々なコストアップ要因が存在する中ではありますが、「信頼と共感により安心の輪を広げます」の基本理念を具現化すべく、多様な形での事業展開を継続し、更に拡大したグループの叡智を結集させ、課題を有する事業所の改善に取り組む、といった好循環を生んでいきます。

重点テーマ

① 地域包括ケアシステム、共生型社会インフラの拡充

昨年度より、本部は新たな拠点開発、それぞれの拠点では新たなサービス開発（新規サービスの開設だけでなく、既存サービスの質の向上、公益的な取組も含む）を実施するよう役割を明確化しました。これにより、よりスピーディに、広域的なネットワーク作りと、それぞれの拠点内での自法人による地域包括ケアネットワーク作りを並行して取り組むことを狙いとしています。

今年度は、更に拠点内という概念から系列施設を含む地域ブロックという概念に発展させ、それぞれのブロックでサービス開発を地域の実情にあわせて取組みます。

ー 令和8年度着手予定 ー

◇足立・埼玉東ブロック（プレミアム扇、プレミアム草加南、足立区地域包括扇・新田）

- ・地域包括支援センター扇の開設
- ・栄養ケアステーションの設置
- ・居住支援/訪問介護と一体運営による終身サポート事業の設置

◇多摩・埼玉南西ブロック（まなびぐら新座、よつばゆりかご会関連施設、常盤会関連施設）

- ・有料老人ホーム/サービス付き高齢者住宅/デイサービスの統合
- ・放課後デイ/児童発達支援の設置検討（白寿会またはよつばゆりかご会での事業）

◇千葉東葛ブロック（プレミアム東松戸、大和会関連施設）

- ・訪問看護事業の安定化と他事業所との連携
- ・有料老人ホーム/デイサービスの統合
- ・連携推進事業（他法人との人事交流）の拡充

◇千葉中央ブロック（千葉シニア関連施設、常盤会関連施設）

② 科学的介護・保育の推進

法人独自のサービス指標であるプレミアケアインデックスと、その数値改善に向けた取組集ともいえるプレミアケアチェックリストを拠点横断的に運用、随時改定します。現在は、各拠点主任層を中心に現場への落とし込みを進めており、日々のサービス改善の方向性を示し、拠点間のノウハウを結集する際の共通言語になっていくことを期待しています。

保育についても同様の取組を行うべく、拠点横断的な検討チームを設置します。

③ 生産性向上・介護テクノロジーの導入

各種介護テクノロジーの導入については、現場での運用状況を確認しながら、順次すすめています。排泄センサー、見守りセンサーやリフト機器についてはある程度、導入が進み、成果も上がってきているところです。今後は、単純な設備の導入だけではなく、人材不足（未経験者や外国籍職員の増加）等の運営状況を前提とし、定着しているサービスや業務の考え方を見直します。その変革をスムーズに行うための促進剤として有用な ICT、介護テクノロジーを取り入れていきます。

このような取組を施設間の連絡会議にて共有することで、全体としての運営能力の向上につなげていきます。

④ 広報力の向上

昨年度、十分にに取り組むことが出来なかった反省から、上半期中には担当職員を配置します。法人および各施設の広報を多面展開し、運用体制を構築します。施設認知度の向上、職員イメージの向上を目的に、コンテンツの高頻度の更新、SNS への展開をします。

あわせて、新卒者採用プログラムを拡充、より他地域へ展開していきます。

その他 令和8年度の方針

① 人材育成・人材確保

昨年度から e ラーニング環境の整備、電子マニュアルの整備を進めており、それぞれのプログラムの更新を継続して行います。職員エンゲージメントの向上、定着率の向上を目指して、職員個々のキャリアプランの立案支援・共有とともに高頻度の面談等、コミュニケーションを密にする取組を各拠点で行っています。あわせて人事・評価制度の充実を可能とする人事システムの選定を進めます。

資格取得支援、マイスター検定の継続的な運用、マイスター認定者の施設外での活躍の場を設けるなど、実践力を伴う人材育成をすすめていきます。

採用面については、概ね全ての事業所で定数を確保しているものの、今後の展開を見据えて定数を増員した事業所もあり、継続的に新卒採用プログラムの拡充、リファーマル採用を中心とした中途採用を進めます。訪問介護やデイサービスなど、これまで外国籍職員を活用してこなかったサービスにおいて実験的に雇用することとします。昨年度は社会福祉連携推進法人では千葉県において、介護福祉士受験対策講座を実施、6名の合格者を輩出しており、令和8年度は千葉県に加え、足立区においても同様に取り組み、介護ビザ取得者の増加を目指します。

② 事業計画に基づく予算編成について

■ プレミア扇

・要員計画

今年度の計画にもとづき、管理栄養士の増員を予定しています。社会福祉士、介護支援専門員については、地域包括支援センターへの異動も視野に先行採用、増員を進めます。また法人全体の広報部門強化の方針に基づき、施設管理部の増員を予定しています。

・予算措置

大規模修繕の第一段階は令和7年度内に終わりますが、補助対象外の備品類の購入に加え、1階デイサービスを中心に大規模修繕の第二段階を計画します。現時点では金額確定前であることから、補正予算で対応することとします。また、地域包括支援センター扇開設のための事務所工事関連支出を計上します。

この他、手摺、マットレス、車椅子等の介護備品の更新/増設費用を見込んでいます。

■ プレミア草加南

・要員計画

グループホームにおいて、若干名の増員を計画している他、要員計画に変更はありません。

・予算措置

喀痰吸引およびマイスター関連の研修費を計上しているほか、加湿器メンテナンス、カーテンメンテナンス等のメンテナンス関連支出を計上しています。Wifi環境整備および見守りセンサーの増設については、継続的に利用可能な補助金を調査の上、補正予算にて実施予定としています。また建具関連の不具合については、その施工内容を含め検討中であり、こちらも補正予算での対応とします。

■ プレミア東松戸

・要員計画

現時点では要員計画に変更の予定はありません。連携推進事業の一環で中核人材を増員することも検討していますが、詳細未定につき補正予算での対応とします。

・予算措置

自家発電機バッテリー交換、ろ過機修繕等のメンテナンス関連費用、家具購入費用、デイサービスでの移乗支援機器購入費用の支出を予定しています。

前年度に続き、喀痰吸引の研修費も計上しています。

■ まなびぐら新座保育園

・要員計画

保育士の要員計画としては変更ありませんが、育休者のための補充を急いでおり、一時的に派遣職員の採用も検討しています。パート職員の雇用タイプを複線化しており、常勤者と同様の業務を担うタイプのパート職員を増やしていく予定です。

・予算措置

各種行事関連費用を計上しています。また、大型遊具の塗装工事（2期目）を実施するための予算を計上しています。公定価格引き上げに伴い一部賃金改善を行うほか、休日数を増やす措置を行います。

④ 理事会・評議員会について

理事会は、5月の決算理事会、10月前後に行う補正理事会、3月に行う予算理事会を定例化し、その他必要に応じて招集、開催します。評議員会については6月に定時評議員会を予定しています。

理事会 （令和8年4月時点）

理事長	川名 美枝子	常務理事	川名 康氏	理事	丸山 安三
理事	寺田 豊子	理事	柳澤 真左子	理事	加賀澤 大助
監事	葉本 喜信	監事	石原 久敬		

各拠点・事業所の事業計画書は、事業所備付の閲覧資料にてご確認ください。